

海外委員会便り

理事（副会長） 中村健一

デジタル人材育成学会では海外各国・地域のデジタル人材育成事例の調査・研究、また関連するセミナーの開催や、デジタル人材育成の観点で海外の学術機関との情報交換・提携を目指し「海外委員会」として活動を行っております。

月1回の定例会の中で、これまでアメリカ・イギリス・ドイツ・スウェーデン・インド・ブラジル・ルワンダなどの世界各国を対象とし、デジタル人材育成の各国の動向や特徴などを各委員がリサーチし、毎月情報共有および討議をしております。本調査の特徴は各国のデジタル人材の育成の主要アクターを明らかにするとともに、育成政策の概要や特徴、各国が注力しているデジタル化を目指す産業や職種に関するリサーチ活動を行っています。

本海外委員会の定例会の中間報告結果として、2022年9月の第2回デジタル人材育成学会研究会に、海外委員会の2名の理事（戸澤・若林）が「デジタル人材育成に関する海外調査～育成の主要アクターと取組事例研究のための事前調査～」と題して、本調査の報告ならびに仮説構築の発表を行いました。

また2022年4月にはインドネシア・ビーナス大学の招聘を受けて、同大学 Master of Computer Science Program の大学院生向けにオンラインで「IT Strategic Planning」に関する授業を提供しました。当日は35名のコンピュータサイエンスを専攻する社会人大学院生が出席し、グローバルIT企業に勤務するデジタル人材育成学会メンバー（若林・中村）の知見や経験をベースとしたIT Strategic Planningの事例を提供するとともに、学生と講師との活発な質疑応答を行いました。

今後海外委員会としては、日本と比べて先進的な海外諸国のデジタル人材育成の事例を探求するとともに、日本のデジタル人材育成の参考となる情報や事例を研究・共有できればと思っております。

2022年4月のインドネシア・ビーナス大学のオンライン授業風景



デジタル人材育成学会 海外委員会メンバー（敬称略）

若林愛、川田真希、税所哲郎、井出昌浩、戸澤健太、中村健一